

KDK セミナー2014のご案内

皆様のご協力に支えられてKDKは設立10周年を迎えました。今年もセミナーを開催します。
多くの方のご参加をお待ちします。

◆日 時 / 平成26年10月17日(金) 13:00~18:00 (受付開始12:30)

◆会 場 / 北九州商工会議所 大会議室 (毎日西部会館 9階)

http://mai-b-seibukaikan.com/?page_id=22

◆主 催 / 九州デジタルエンジニアリング研究会 (KDK)

<http://kdk.firebird.jp/>

◆共 催 / 北九州商工会議所

(社)日本機械学会 計算力学部門 九州地区計算力学研究会

◆参加費 / 無料 ◆定員 / 100名

《スケジュール》

第1部 13:00~14:40 【司会: NSプラント設計(株) 大神】

13:00~13:05 ◇開会挨拶 KDK 会長 佐賀大学 萩原 世也

13:05~13:10 ◇共催挨拶 北九州商工会議所

13:10~14:00 ◇基調講演 トヨタ自動車九州株式会社 R&Dセンター 製品企画グループ長 宮本 聡様

「九州発信の”もっといいクルマをつくろうよ”

14:00~14:40 ◇特別講演 アドバンスソフト株式会社 代表取締役社長 松原 聖様

「日本発 CAE ソフトウェアによる解析事例のご紹介」

(休憩 14:40~14:50)

第2部 14:50~18:00 【司会: 黒崎播磨(株) 神尾】

14:50~15:15 ◇事例紹介1 株式会社電通国際情報サービス 岡本 典臣様

「次世代格子ボルツマン法をベースとした流体解析ソフトウェア XFLOWの紹介」

15:15~15:40 ◇事例紹介2 ダッソー・システムズ ソリッドワークスジャパン株式会社 白神 岳様

「3D EXPERIENCE SOLIDWORKS MECHANICAL CONCEPTUAL」

15:40~16:05 ◇事例紹介3 PTC ジャパン株式会社 山本 和良様

「PTC CreoのマルチCAD機能とダイレクトモデリング手法によるCAEの為の

簡単CADデータ作成編集のご紹介」

(休憩 16:05~16:15)

16:15~16:40 ◇事例紹介4 サイバネットシステム株式会社 大波多 純也様

「ダイレクトモデリングを利用したリバースエンジニアリングおよび

3Dプリンター用モデル作成」

16:40~17:05 ◇事例紹介5 富士通九州システムズ株式会社 吉野 英夫様

「富士重工様における産業機器用エンジン開発における Autodesk Simulation CFD の活用」

17:05~17:55 ◇KDK10周年を振り返り意見交換

・ 数値解析技術の進展 (高機能化・大規模化・並列化・高速化など)

・ 3Dモデリングの進展 (設計適用拡大、3Dプリンターによる新たな事業創生など)

17:55~18:00 ◇アンケート記入

懇親会 18:30~ 会費 3,500円 場所: 竹取御殿 小倉魚町銀天街店 tel 093-512-6057

◆駐車場は準備しておりませんので、お車でお越しの方は会場周辺のコインパーキングをご利用ください。

◆お申し込みは、下記申込書にてFAX、またはメールにてどうぞ。

◆申し込み期限は10月10日。

◆お問い合わせは 九州デジタルエンジニアリング研究会 事務局 大木 (NSプラント設計) まで

TEL 080-4104-6387 FAX 093-882-7655 E-mail : oki.tsutomu@eng.nssmc.com

NSプラント設計 SIES' S部 大木 行 (fax 093 - 882-7655)

(申込み締切り10/10(金))

「KDKセミナー」申込書

事業所名		電話番号	
住 所		FAX 番号	
氏 名		懇親会	出席 欠席

講演概要

◇基調講演 トヨタ自動車九州株式会社 R&Dセンター 製品企画グループ長 宮本 聡様
「九州発信の” もっといいクルマをつくろうよ”」

【概要】

国内需要の縮小や生産の現地化など海外シフトが進む昨今の自動車業界。将来にわたりモノづくりを国内に残す為は何をなすべきか。トヨタの国内第2の生産拠点として九州から発信する“もっといいクルマづくり”について、R&D 機能を中心に SAI マイナーチェンジの開発秘話などを交えながらお話しします。

◇特別講演 アドバンスソフト株式会社 代表取締役社長 松原 聖様
「日本発CAEソフトウェアによる解析事例のご紹介」

【概要】

アドバンスソフトは、国のプロジェクトで開発されたソフトウェアを中心に CAE 事業を展開しております。これらのソフトウェアは初期の開発が終了して 10 年経過し、特に大規模解析については、徐々に国内で普及しつつあります。本講演では、当社で関係した事例の中から流体・構造・音響ソフトウェアの連成解析を中心とした最近の事例を紹介いたします。また、最後に第一原理計算等の原子分子のシミュレーションの今後の可能性についても述べます。

◇事例紹介 1 株式会社電通国際情報サービス 岡本 典臣様
「次世代格子ボルツマン法をベースとした流体解析ソフトウェア XFLOWの紹介」

【概要】

XFlow は 2012 年にスペインで生まれた、格子ボルツマン法ベースの最先端 CFD ソフトウェアです。流路空間、構造表面へのメッシュ生成が一切不要なため、解析準備作業を圧倒的に短縮できる他、可動部品を含む空力、液体自由表面、多相流、騒音など複雑な現象に幅広く対応できる特長を有しています。欧州自動車メーカーの適用事例を含め、最新の事例をご紹介します。

◇事例紹介 2 ダッソー・システムズ ソリッドワークスジャパン株式会社 白神 岳様
「3D EXPERIENCE SOLIDWORKS MECHANICAL CONCEPTUAL」

【概要】

設計チーム全体、顧客、サプライチェーンの集合知を活かすことで、アイデアの具現化や既存設計案の活用、コラボレーション、フィードバックの迅速な収集ができます。なお、顧客は自社特有の概念設計プロセスを促進する事が可能となります。3D エクスペリエンス・プラットフォームを基盤とする初の SOLIDWORKS アプリケーション、クラウド上での製品イノベーションをご紹介します。

◇事例紹介 3 PTC ジャパン株式会社 山本 和良様
「PTC Creo のマルチ CAD 機能とダイレクトモデリング手法による CAE の為の簡単 CAD データ作成編集のご紹介」

【概要】

7 月にリリースしました Creo 3.0 による他社 CAD データや中間ファイルをそのまま取り込み、簡単にダイレクト編集後、解析を実行できる機能ならびプロセスのご紹介。

◇事例紹介 4 サイバネットシステム株式会社 大波多 純也様
「ダイレクトモデリングを利用したリバースエンジニアリングおよび 3D プリンター用モデル作成」

【概要】

お手持ちの CAD データを簡単・自由に編集可能な 3 次元ダイレクトモデラー SpaceClaim は、その特長から試作などの構想モデルの作成に多くご利用を頂いています。本講演では、この SpaceClaim の特長を活かした、STL データの CAD 化および編集機能をご紹介します。

◇事例紹介 5 富士通九州システムズ株式会社 吉野 英夫様
「富士重工様における産業機器用エンジン開発における Autodesk Simulation CFD の活用」

【概要】

産業機器用エンジンの開発現場は、少数精鋭のチームで、お客様のニーズに合ったエンジンを開発しています。その為、一人当たりが担当する設計範囲が広い一方、設計者のアイデアを製品に盛り込むチャンスは多いです。設計者が直面する「自分の考えたアイデアが妥当であるか?」、「複数のアイデアの内、どれがいいのか?」等の課題を解決すべく、設計者向けの CAE 環境構築に取り組んでいます。本発表では、実際の解析事例と併せて、製品開発における CAE の活用について紹介いたします。